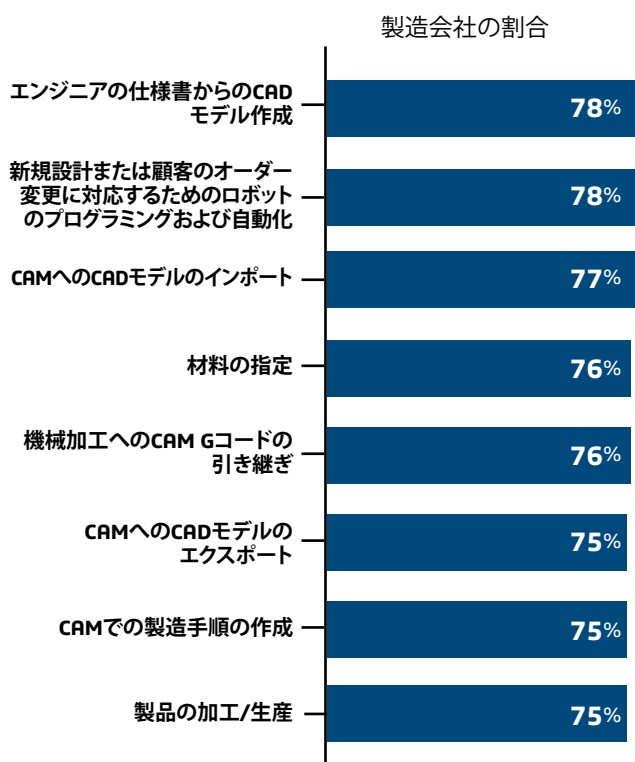


データへのアクセス欠如に伴う 機械加工の生産性の制限

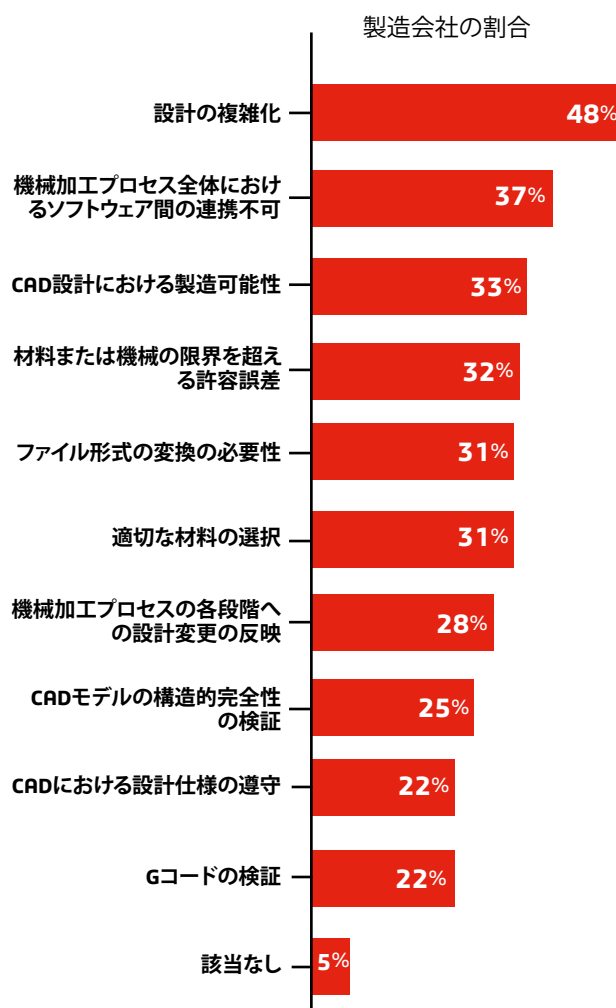
3DS Barometer—Machining¹によると、75%以上の製造会社が8つの機械加工プロセスにおいて大量または中程度の量のデータを手作業で処理していると回答しています。この割合が最も高いのは、エンジニアの仕様書からのCADモデル作成と、新規設計におけるロボットのプログラミングおよび自動化であり、ともに78%です。

大量または中程度の量のデータ処理が必要なプロセス：



統一されたデータソースにアクセスできないと、機械加工能力の実現可能性や検証などの課題が発生します。

機械加工プロセスに影響する課題：



機械加工では、単一の正確なデータセットにアクセスできることが重要です。高品質データへのリアルタイムアクセスを妨げているものは何ですか？

3DSは、手作業によるデータ入力を削減し、機械加工プロセスが生産的に機能し、収益性を向上させるのに役立ちます。